

都市再生整備計画(第5回変更)

とよかわひめかいどうちく
豊川姫街道地区

あいち とよかわし
愛知県 豊川市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	豊川姫街道地区	面積	823 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

- 大目標 元気の出るまち、住みたくなるまちづくり
 目標1 中心市街地及びその周辺地区の活性化
 目標2 安心・安全に暮らし続けられる生活環境づくり
 目標3 健やかで生き生きと暮らせる都市空間の形成

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

当該地区は、都市計画道路姫街道線が中心部を東西に貫き、名鉄豊川線が南部を東西に、JR飯田線が東部を南北に走り、名鉄八幡駅、諏訪町駅、稲荷口駅、豊川稲荷駅、JR豊川駅の4つの鉄道駅を有している。
 当該地区の主要なエリアは、本市の中心市街地である豊川地区、諏訪地区、中央通地区と、平成25年開院予定の新市民病院建設予定地である八幡地区である。
 中心市街地である豊川地区は、日本三大稲荷の一つである豊川稲荷の門前町として古くから商店街が形成され、観光のまちとして発展してきた地区であり、JR豊川駅と名鉄豊川稲荷駅を有していることから、本市の玄関口としての機能を持っている。
 豊川駅東側は交通の便に恵まれたところでありながら、住・商・工の混在した土地利用に加えて、所々に農地も点在している状況であるため、平成7年度から土地区画整理事業を実施している。
 諏訪地区は、本市の中心部に位置し、かつては豊川海軍工廠の城下町として発展し、戦後の混乱を経て新興の商店街として成長してきた地区である。平成元年には市街地再開発事業による商業ビル「プリオ」が、平成13年にはプリオを補完する核施設として「プリオⅡ」がオープンし、市の商業の中心的役割を担っている。また、市役所を始めとする主要な公共施設が集約されており、本市の中心核としての位置を確立している。
 中央通地区は、豊川地区と諏訪地区を結んでいる本市の幹線道路である姫街道の沿道として発展してきた商業地区であり、姫街道は、本市の主要な市街地をつなぐ交通軸、文化・観光軸として重要な役割を持つ都市軸である。
 また、八幡地区は、中心市街地の周辺地区であり、歩いて暮らせるまちづくりを推進するため、名鉄八幡駅のすぐ南を新市民病院の建設予定地とし、今後、急速な開発を進めていく地区である。

課題

- ・当該地区は、市街地形成の歴史が古く、基盤整備が遅れているため、土地区画整理事業等の基盤整備の推進が必要である。
- ・当該地区は、商業の衰退が深刻であるため、地域経済の活性化に資する基盤整備、住民や商店主たちのまちづくりを支援する事業などの推進が必要である。
- ・当該地区は市民病院の建設予定地を含んでおり、市民病院の建設とその周辺道路等の整備が急務である。
- ・当該地区は、安全・安心に関する事業を推進し、都市の魅力を上させ、定住人口の増加を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

・第5次総合計画において、「良好な住環境整備」として「豊川駅東土地区画整理事業」が、「安全・安心事業」として「交通安全対策の強化」、「防犯対策の強化」、「防災対策の推進」が位置づけられ、「地域医療体制の充実」として「新市民病院の建設」が、「中心市街地は、地区の特性を活かし、魅力にあふれ、住みたくなるまち、訪れたくなるまちに」が位置づけられている。
 ・平成19年8月に策定された新市基本計画において、「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を新市の将来像と定めている。また、防犯・交通安全対策の強化などに努めることで「安全で快適な生活環境が整っています、ゆとりある住環境の形成を図るなどして「住み心地のよいまちの空間が生み出されています」、まちの特徴を活かし観光や交流を通じた活力ある生活環境づくりなどにより「個性があり活力あるまちになっています」を、新市のまちづくりの目標としている。

目標を定量化する指標

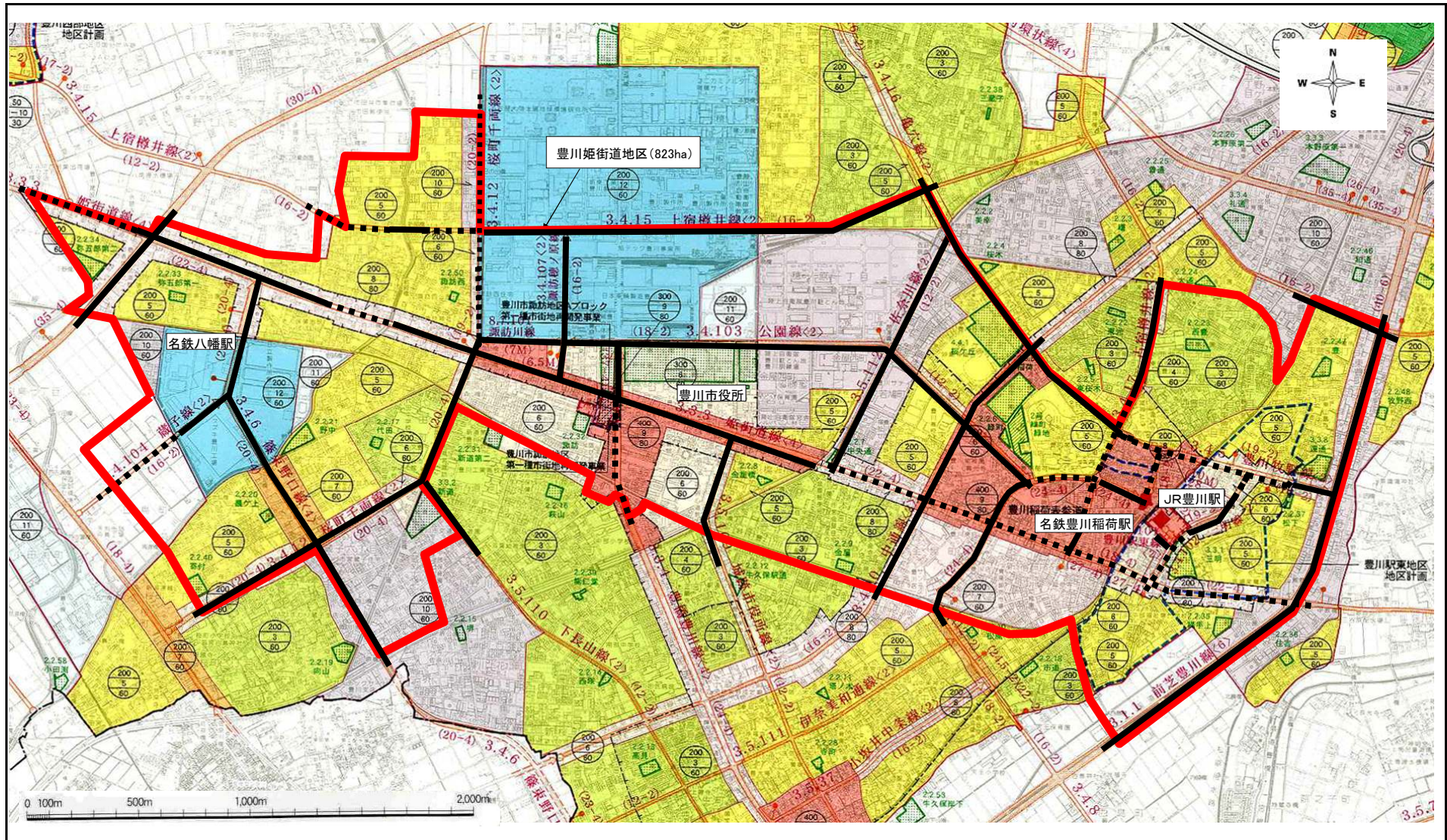
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
乗降客数	人	名鉄豊川稲荷、稲荷口、八幡駅とJR豊川駅の乗降客数	中心市街地及びその周辺の活性化を目標としていることから、中心市街地及びその周辺地区の活性化の度合いを表す指標として地区内の鉄道駅の乗降客数を指標とする。	3,177,596	H20	3,310,100	H26
地区内人口	人	地区内の小学校区人口	安心・安全に暮らし続けられる生活環境づくりを目標としていることから、定住人口の推移を示す指標として、地区内の小学校区人口を指標とする。	30,670	H20	30,890	H26
医療環境満足度	%	市民意識調査による医療環境満足度	健やかで生き生きと暮らせる都市空間の形成を目標としていることから、医療環境に対する市民の満足度合いを見る指標として市民意識調査による医療環境満足度を指標とする。	45.5	H21	50.9	H26

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・方針1: 中心市街地の活性化 中心市街地の魅力を高めるため、各種基盤整備、商業活性化事業、安全・安心のまちづくりを推進する事業等を積極的に行い、中心市街地の商業地区内の交流人口の増大を当該地区の定住人口の増加、地域経済の再生のために活用する。</p>	<p>■ 基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(情報板) ・高質区間形成施設 ・土地区画整理事業: 豊川駅東土地区画整理事業 <p>○ 関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業: 豊川駅東土地区画整理事業 ・まちなかにぎわい創出事業 ・商店街ファサード整備事業 ・中心市街地マップ作成事業 ・ブランド商品開発事業 ・まちづくり活動PR促進事業 ・中心市街地諏訪地区活性化事業
<p>・方針2: 安心・安全に暮らし続けられる生活環境づくり 地域住民の安全性、居住性等を確保するために、道路、下水道等の公共施設の改善と土地利用の効率化を推進する基盤整備事業などを行う。また、安心、安全事業により、地域の防犯、防災能力の向上を目指す。</p>	<p>■ 基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路: (都) 蔵子線 ・道路: 市道伊奈鳥川線 ・道路: 市道代田八幡線 ・道路: 市道篠東野口線 ・道路: 野路鐘鋳場線 ・道路: 市道野口道下1号線 ・地域生活基盤施設(地域防災施設) ・高質区間形成施設 ・バリアフリー環境整備促進事業 <p>□ 提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業 ・防災ボランティアコーディネーター研修事業 ・安全・安心まちづくり事業 <p>○ 関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業 ・八幡駅周辺バリアフリー化事業 ・八幡駅前ルーフ整備事業 ・安全・安心まちづくり事業 ・都市公園安全安心対策緊急総合支援事業
<p>・方針3: 健やかで生き生きと暮らせる都市空間の形成 市民が健やかで生き生きと暮らせるよう、地域完結型医療の提供と医療の質の向上など、都市空間の形成事業を行う。</p>	<p>□ 提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民病院整備事業 <p>○ 関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民病院整備事業
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>豊川姫街道地区(愛知県豊川市)</p>	<p>面積 823 ha</p>	<p>区域 八幡町、野口町、市田町、諏訪西町、白鳥町、蔵子、新道町、諏訪、菘山町、佐奈川町、南大通、種ノ原、代田町、金屋橋町、赤代町、金屋西町、金屋本町、中央通、千歳通、若旭町、開運通、本野町、西桜木町、桜ヶ丘町、末広通、若宮町、金屋元町、幸町、北浦町、二見町、新宿町、旭町、駅前通、豊川町、門前町、豊川西町、東新町、西豊町、東豊町、古宿町、中榮町、馬場町、天神町、光陽町、牧野町、住吉町、豊川仲町、西木町、豊川栄町、豊川元町、桜木通、緑町、谷川町、若宮町、松風町、稲荷通、東名町の一部</p>
------------------------	------------------	---



豊川姫街道地区(愛知県豊川市) 整備方針概要図

目標	元気の出るまち、住みたくなるまちづくり	代表的な指標	乗降客数 (人)	3,177,596 (20年度)	→	3,310,100 (26年度)
			地区内人口 (人)	30,670 (20年度)	→	30,890 (26年度)
			医療環境満足度 (%)	45.5 (21年度)	→	50.9 (26年度)



豊川姫街道地区(愛知県豊川市) 整備方針概要図

目標	元気の出るまち、住みたくなるまちづくり	代表的な指標	乗降客数 (人)	3,177,596 (20年度)	→	3,310,100 (26年度)
			地区内人口 (人)	30,670 (20年度)	→	30,890 (26年度)
			医療環境満足度 (%)	45.5 (21年度)	→	50.9 (26年度)

